



ビジネス・イノベーション
講演会

参加申込
受付中

モザンビークの経済発展と日本 —アフリカ・ビジネスの可能性を考える—

12月11日（水）09:00-10:30

甲南大学岡本キャンパス

133講義室（1号館3階）

お申込

甲南大学
ビジネス・イノベーション研究所

bi@adm.konan-u.ac.jp

アクセス

阪急神戸線岡本駅、またはJR神戸線摂津
本山駅より北西約徒歩10分。



講 師

関西大学大学院法学研究科
国際協働コース修士課程
（JICA ABEイニシアティブ留学生）
モザンビーク財務省会計課
上席会計監査官

Chipe Leonel 氏

コーディネーター（通訳）

甲南大学経営学部教授
ビジネス・イノベーション
研究所兼任研究員

マノジュ シュレストタ 氏

モザンビークの経済発展と日本 ーアフリカ・ビジネスの可能性を考えるー

2000年度以降、アフリカは、世界平均を上回る経済成長率を遂げてきた。そして、その人口は2050年には25億人を超え、中国やインドを上回ると予想される。また、2021年1月からは、アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)が始動し、アフリカ全域での共通市場化が進む中、アフリカの潜在力には世界から期待が寄せられる。

本講演会では、近年のJETRO海外進出日系企業実態調査(アフリカ編)においても、市場の成長性、インフラ開発、天然ガス・鉱物、電力インフラ面で、注目国トップ10に位置付けられるモザンビークに焦点を当て、同国へのビジネスの可能性と日本との関係について検討を加える予定である。

講演者紹介



<プロフィール>

モザンビーク高等商学・財務・経営学院卒業(法学士)
2011年 モザンビーク財務省入省人事課、総務課を経て、
2021年より会計課上席会計監査官。
2024年より JICA(国際協力機構)ABEイニシアチブプログラムによる日本国国費留学生として関西大学大学院法学研究科国際協働コース(修士課程)に在籍。
研究テーマは「知的財産権を活用したモザンビークの新たな経済発展モデル」

関西大学大学院法学研究科
国際協働コース修士課程

Chipe Leonel 氏

モザンビーク財務省会計課 上席会計監査官